

宗内寺院紹介 55

神奈川教区横浜南部

光瑞山 天王院



当寺は光瑞山天王院と称するが、また正法寺という寺号もある。本尊は恵心僧都作と伝わる阿弥陀三尊像。また、別棟の瑞生殿に不動明王ならびに八大童子像を安置。

伝承では平安前期の西暦八五八年・慈覚大師円仁による開山と伝わり、また『新編・武蔵国風土記』には織豊期の西暦一五九四年に祐山が再興し、徳川家重時代の西暦一七四六年に伝海が中興とある。元は旧東海道沿い鶴見神社（旧称・杉山明神）隣地に所在したが、一九一一年三月三十一日の『鶴見大火』と呼ばれる事故によって山門を残し焼失する。一九二七年に現在地に再建が完了し、焼失を免れた山門は移築された。

鶴見神社の夏祭りが「天王祭」と称していることから天王院は鶴見神社の素戔鳴尊（牛頭天王）を仏教式に祀っていたと推察される。

①本堂外観 ②伝教大師童形像 ③境内(十三重塔) ④境内(鬱金桜)
⑤瑞生殿

神奈川教区横浜南部
光瑞山 天王院

住 所 / 〒230-0015 神奈川県横浜市鶴見区寺谷1-2-1
電話番号 / 045-581-2425